

技術・家庭科学習指導案

北広島町立芸北中学校
指導者

- 1 日 時 令和 年 月 日 (木) 5 校時
- 2 場 所 3 年教室
- 3 学 年 3 学年 名 (男子 名 女子 名)
- 4 題材名 「わたしたちの成長と家族・地域」
- 5 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領の内容「A家族・家庭と子どもの成長」の、項目(3)「幼児の生活と家族」の指導事項ア～エを取り扱うように設定している。

ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。

イ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解すること。

ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫できること。

エ 家族又は幼児の生活に関心をもち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できること。

人との関係性が希薄で育ちにくいといわれている現代の中学生にとって、こども園を訪問することで、実際に幼児と触れ合う機会を持ち、その生活の様子を知ることは、幼児についてさまざまな視点から理解することにつながる。そして、中学生が五感を通して幼児とかかわる体験は、自分の成長を振り返る機会となり、また人間の成長のプロセスの不思議さや面白さを学習することにつながる。さらに、幼児に慕われ信頼される肯定的な感情の体験ができれば、自己肯定感や人とかかわり合う楽しさ、生きる力、地域社会への関心の広がりへつながると考える。

(2) 生徒観

幼児との触れ合い体験について、生徒に事前の意識調査をしたところ、「幼児と触れ合うのは楽しい。」の項目に、全員が肯定的な回答をしている。しかし、「幼児についての学習が楽しみである。」との項目に、否定的な回答をした生徒が 20%、「幼児との触れ合い体験で困りそうだ。」と答えた生徒が 50%いる。実際の生活場面で、幼児との関わる機会が少なく、生徒の不安は、幼児と意思疎通がうまくできなかったり、幼児が泣いたりした時に、どう対応したらいいのか困るということだった。

これらのことから、生徒たちは幼児との触れ合う体験が少なく、幼児への理解が十分でないことが課題であると考えている。

(3) 指導観

指導にあたっては、自分の成長を振り返ることによって、幼児であった頃の自分の好きだったものや遊びなどを思い出させ、「身近な」存在であることに気づかせたい。また、遊び道具の製作や幼児との触れ合う体験を通して幼児に関心を持たせたい。触れ合う体験では、問題解決的な学習の流れを設定する。幼児とかかわるときの自分の課題を設定し、課題解決に向けて準備、実行、評価を行う。そして、中学生期

にある自分と家族や家庭生活とのかかわりについて考えさせ、自分の成長や生活が家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付かせたい。また、幼児の心身の発達と生活、子どもを取り巻く環境としての家族や家庭の重要性についても理解させる。

6 題材の目標

- (1) 幼児の発達と生活の特徴を知り、家族の役割について理解することができる。
- (2) 幼児の観察や遊び道具の製作、幼児の遊びの意義を理解することができる。
- (3) 幼児との触れ合いを通して、かかわり方を工夫できる。

7 題材の評価規準

ア 生活や技術への 関心・意欲・態度	イ 生活を工夫し 創造する能力	ウ 生活の技能	エ 生活や技術につい ての知識・理解
幼児の生活と家族に関心をもち、課題をもって学習活動に取り組み、家族又は幼児の生活をよりよくするために工夫し、計画を立てて実践しようとしている。	幼児の生活と家族について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	幼児の生活と家族に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	幼児の生活と家族について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。

8 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本題材の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
触れ合い体験で自己課題の解決に向けて活動する	意志力	自分課題解決のために、触れ合い体験活動の内容を決め、創意工夫をしている。

9 指導と評価の計画（全16時間）

次	時	学習内容	評 価					評価方法
			関	創	技	知	評価規準	
1	1	幼いころを振り返ろう 課題の設定	○				・自分の成長や生活は、家族やそれにかかわる人々に支えられてきたことに気付くことができる。 (ノート・観察・振り返り)	ワークシート 観察 振り返り

	2 3 4 5 6	幼児の生活と 遊びを知ろう <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">整理・分析</div>				<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・ 幼児の心身の発達の特徴について理解している。 ・ 基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性とそれを支える家族の役割について理解している。 ・ 幼児の心身の発達に応じた遊び道具について関心をもち、計画や製作に取り組もうとしている。 ・ 幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。 	ワークシート 観察 振り返り 作品
2	7 8 9	触れ合い体験 の準備をしよう【本時1/3】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">課題の設定</div>	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 触れ合い体験に向けた自分の課題を見つけ、解決のための計画を立てる。 ・ 課題解決に向けて、かかわり方の工夫を考えている。 	ワークシート 観察 振り返り
	10 11	幼児と触れ合おう <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">実行</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">情報の収集</div>	<input type="radio"/>			<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児と触れ合う活動などを通して、幼児に関心をもっている。 ・ 幼児と触れ合う活動などを通して、適切にかかわろうとしている。 	観察
3	12 13 14	触れ合い体験 をまとめよう <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ふり返り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・創造・表現</div>			<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 触れ合い体験を振り返り、自分の計画の成果と課題を、整理することができる。 ・ 成果と課題を、他人に分かりやすくまとめたり、発表したりしている。 	振り返り まとめプリント 観察
4	15 16	子どもにとっての家族を考えよう <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ・創造・表現</div>				<input type="radio"/> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ・ 幼児の成長を支援する社会施設や、子どもを守る条約や法律などについて理解している。 	ワークシート 観察 振り返り

6 本時の学習

(1) 本時の目標

幼児との触れ合い体験に向けて、自分の課題解決に向けたかかわり方の工夫を計画することができる。

(2) 本時の評価規準

【生活を工夫し創造する能力】

幼児との触れ合い体験について設定した目標の達成を目指して、幼児との遊び方、幼児との関わり方についての計画を自分なりに工夫している。

(3) 資質・能力の評価基準

【意志力】

幼児との関わりについて自分の課題を見付け、課題解決に向けた目標を設定し、課題解決の方法を考えている。

(4) 準備物

教科書、ワークシート、I p a d、折り紙

(5) 本時の学習展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆配慮を要する生徒への支援	評価規準（評価方法） ☆観点別評価 ★資質・能力の評価
導 入	1 本時のねらいを確認する。	◇触れ合い体験に向けた準備をすることを説明する。 自分の課題解決を目指して、幼児とのかかわり方の工夫をしよう。	
展 開	2 アンケートから自分の課題を見付ける。 3 自分の課題を解決するための目標を考える。 4 目標を達成するための活動内容を考える。 5 準備をしよう。	◇幼児に対する自己アンケートから、自己課題を見付けさせる。 ◆課題についてペアで相談し、発表する。 ◇昨年の触れ合い体験の時間や状況を説明して、イメージを膨らませて、実践可能な目標を考えさせる。 ◇触れ合い体験の活動内容を時系列に考える。 ◆いくつかの実践例の中から、活動内容を選択させる。 ◇絵本の読み聞かせの練習をする。 ◇幼児と一緒に楽しむために知っておいた方が良い折り紙やお絵かきなどを、調べて、練習する。	☆【生活や技術への関心・意欲・態度】これまでの自分と幼児との関わり振り返り、自分自身の課題を見付けようとしている。 ☆【生活を工夫し創造する能力】解決したい課題をしっかりと意識して、活動内容を考えている。 ★【意志力】解決したい課題をしっかりと意識して、創意工夫して取り

		◆生徒同士と一緒に練習できるように声をかける。	組んでいる。
ま と め	7 本時のまとめをする。	◇決めた目標を発表させ、次時の予告をする。 ◇限られた時間で、目標を達成できるように計画的に取り組むことを意識するように伝える。	